

SPARC64™ XII 搭載 UNIX サーバ「富士通 SPARC M12-1」

製品概要

高性能を誇る最新の「SPARC64 XII」プロセッサを搭載した UNIX サーバ。1U の筐体に、1CPU/最大 6 コア、最大 512GB メモリ(※)を搭載可能なエントリーレベルサーバです。

※今後、最大 1TB へ拡大予定

- コア性能を強化した高性能プロセッサ「SPARC64™ XII」採用
- 高密度設計によりコンパクトな 1U サイズを実現。最大 6 コア、48 スレッドを搭載
- CPU コア アクティベーションによる柔軟なリソース追加が可能
- 仮想化機能を標準搭載し、サーバ統合を実現
- メインフレームの高信頼性技術を継承
- Web ブラウザから装置の監視・制御が可能



仕様

モデル名	富士通 SPARC M12-1
富士通名称	SPARC M12-1

形状	ラックマウント (1U)	
プロセッサ	プロセッサ名称	SPARC64™ XII
	周波数	3.2GHz
	プロセッサ数	1 プロセッサ
	コア数	最大 6 コア
	スレッド数	最大 48 スレッド
	1 次キャッシュメモリ	128KB (命令 64KB+データ 64KB) [1 コアあたり]
	2 次キャッシュメモリ	512KB (命令・データ共通) [1 コアあたり]
	3 次キャッシュメモリ	16MB (命令・データ共通) [1 プロセッサあたり]
メモリ (注 1)	最大 1TB	
内蔵ディスク/SSD	搭載台数	最大 8 台 (SAS-HDD または SAS-SSD)
	容量	最大 7.2TB
PCI スロット	内蔵	PCI Express 3.0 (8 レーン) : 3 スロット
	PCI ボックス接続時 (注 2)	PCI Express 3.0 (8 レーン) : 最大 33 スロット
I/O インターフェース	LAN	4 ポート (100Base-TX/1000Base-T/10GBASE-T (RJ45))

	SAS	1ポート (mini-SAS、6Gbps)
	USB	2ポート
冗長機構		メモリ (注3)、ディスク (注4)、SSD (注5)、電源、ファン、電源入力系統、PCIカード (注6)
活性交換機構		ディスク (注4)、SSD (注5)、電源、ファン
外形寸法 (注7)		幅 : 431mm × 奥行 : 721mm × 高さ : 42.5mm
質量		18kg (注8)
電源	電圧	AC100~120V ±10%, AC200~240V ±10%
	相数	単相
	周波数	50Hz/60Hz
最大消費電力/皮相電力	AC100~120V 時	785W/809VA
	AC200~240V 時	774W/798VA
最大発熱量	AC100~120V 時	2,830kJ/h
	AC200~240V 時	2,790kJ/h
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 (注9) (2011年度基準)		8.1 (C区分)
オペレーティングシステム		Oracle Solaris

注1 : 2017年7月現在の最大搭載メモリ容量は512GB。512GBを超える構成は、今後提供予定。

注2 : 構成やOS版数により最大数は異なります

注3 : メモリミラー時

注4 : ソフトウェアまたは内蔵ハードウェア RAID によるディスクミラー時

注5 : ソフトウェアによるディスクミラー時

注6 : マルチバス構成時

注7 : 突起物を含まない外形寸法

注8 : PCIカード、ラックマウントレールを除く

注9 : エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能 (単位:ギガ演算) で除いたものです。

* UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

* SPARC、SPARC64 は、米国 SPARC International, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

* Oracle は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

* その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。